

筑波大学 技術職員 交流会



二〇二〇年三月三日
筑波大学総合研究棟B
〇一〇室・〇一一室

9:30-9:40 開会式 0110 室

9:40-10:40 分科会 1 0110 室

大学人のためのビジュアルデザイン講座 PowerPoint 活用編

リーダー：林剛人丸（体育芸術エリア支援室）

講師：田中佐代子（芸術系教授）

大学に関わる人たちには、会議や業務報告等のために資料を作成する機会が少なくありません。分科会 1 では『PowerPoint による理系学者・研究者のためのビジュアルデザイン入門』* の著者である本学芸術系の田中佐代子教授に、センス良くわかりやすいビジュアルデザインの技術や勘どころについてレクチャーをお願いしました。「パワポで描く」「効果的な配色」「グラフ・表・チャート」「書体と文字組」「画面構成の方法」といった観点から、「わずかと手間の違い」と「シンプルの強さ」を解説していただきます。

* 参加者には資料として無料で配布します。（先着 50 名、要申し込み）

10:50-12:20 分科会 2 0110 室

—PDF 文章のセキュリティ向上 アクションの使い方—

リーダー：小林浩三（医学医療系技術室）

講師：大倉壽子（アドビシステムズ株式会社インストラクター/ジェネラリスト）

今や使ったことがない人を探するのが難しいくらい社会に浸透している pdf 文書。それを作り出すツールとしての Acrobat にはたくさんの便利な機能があります。しかし、それぞれ利用する人にとって頻繁に使う機能は限られているのではないのでしょうか。そこで、アドビから講師を招き便利機能のひとつである pdf 文書のセキュリティを向上させるためのアクションについて具体的に機能や操作方法について紹介していただき、スキルアップを図っていただくと考えています。

12:30-14:00 分科会 3 0110 室

ランチミーティング 参加費：¥1000

技術職員相互協力への一歩 —お互いのできることを識ろう—

リーダー：竹川雅実（生命環境系技術室）

大学における様々なリソースが縮小傾向にある中で、それぞれの技術職員における業務範囲が多岐にわたってきている傾向が見られます。

専門外の業務をこなすためには対象とする業務についての勉強や習熟、準備や機材が新たに必要になり、多くの業務の中で少なくない時間屋予算を必要としてしまいます。日頃からなんとかしてこなしてしまいがちですが、大学内にはその道の技術を持った専門家達が技術職員として在籍しております。そんな専門家がどのような業務を行っているかを識ることで相互に協力・相談のができるようになり、互いの業務効率化と質の向上のきっかけになればと考えています。

14:10-15:10 分科会 4 0112 室

夏休み自由研究お助け隊を振り返る —2016 年から 2019 年—

リーダー：木澤祥恵（生命環境系技術室）

2004 年の発足から技術職員の有志で活動を行ってきた社会貢献事業「夏休み自由研究お助け隊」は 2016 年から全学技術委員会により正式に実行委員会が設置されることとなりました。それから 4 年、各分野の技術室が交代で運営することで、幅広い組織の技術職員が、運営に、ワークショップにと、いろいろな形で参加するようになり、各年で様々な企画も立ち上がっております。今回は 2016 年から 2019 年の 4 回のお助け隊を振り返り、開催概要や企画の内容についての情報共有を行います。今後のお助け隊の方向性や新たな企画、新規ワークショップテーマなどについて意見交換を行う機会になればと考えています。

15:25-16:25 分科会 5 0112 室

特殊任務への挑戦② —ROV 編・台風対応編—

リーダー：柴田大輔（下田臨海実験センター）

- ・ ROV 編：ROV とは自航式水中ハイビジョン TV ロボットで、探査機と船上の制御装置がケーブルで繋がっており、リアルタイムで映像を確認しながら目的の観察を行うことができます。海底環境や生物相の調査において ROV は活躍しており、今回はそれらの映像とともに操作や使用方法についても紹介します。
- ・ 台風対策編：2019 年 10 月に伊豆半島に上陸した台風 19 号によって、倒木や海水を送るパイプが折れる、停電が一日以上続くなどの被害がありました。被害状況とともに、電源確保や生物維持のために行った対応について紹介します。

16:25-16:40 閉会式 0110 室